

【代理投票の流れ】の補足



1 投票所に行く前に確認しましょう

入場券に書かれている自分の名前と、投票の日時・場所を確認して、投票所に向かいます。

(期日前投票は、日時や場所が異なる場合がありますので、事前に確認して下さい。)



2 受付で、あなたの意思を伝えましょう

受付で名前を呼ばれたら、「はい」と答えたり、うなずくなどの方法で意思表示をしてください。

代理投票の支援が必要な場合や、投票方法がわからない場合は、

- 「支援が必要です」や「代理投票を希望します」と伝えましょう。
- 言葉で伝えられない場合は、事前にメモなどに書いて渡しても大丈夫です。

家族や支援者から、あなたの意思を伝えることはできません。
(投票は、あくまでご本人の意思が大切です。)



3 投票所の職員がサポートします

代理投票のときは、投票所の係員2名が付き添います。

- ここからは、保護者や支援者の同伴はできません。
- ご本人が不安な場合、同伴が認められることもありますが、投票記載台では少し離れてお待ちいただきます。



4 係員が代理で記載し、確認します

係員1名が代理で投票用紙に記載し、もう1名が確認します。

- 候補者や政党の名前を口頭で伝えるか、指さして係員に伝えてください。
- 候補者の写真は記載台にはありませんので、候補者や政党の名前のメモ、選挙公報などを切り取ったものを事前に用意し、係員に渡してもかまいません。



5 必要なサポートを遠慮なく伝えましょう

投票用紙を投票箱に入れる時に、緊張して手が震えるなど不安がある場合は、係員が支援してくれます。その場で遠慮なく伝えましょう。



※ 上記の流れはイメージです。事前に各市町村に確認をしてください。

田中寛作成